

平成 30 年度 第 1 回 山科区民まちづくり会議

日時：平成 30 年 7 月 31 日（火）

午前 10 時～

場所：山科区役所 大会議室

次 第

1 開 会

2 趣旨説明

「第 2 期山科区基本計画」の推進について

3 議 論

「第 2 期山科区基本計画」の進ちよく・達成評価について

4 閉 会

<配付資料>

資料 1 「第 2 期山科区基本計画」の推進について

資料 2 山科区民まちづくり会議委員名簿

資料 3 平成 30 年度山科区の重点取組について

資料 4 施策進ちよく評価検証シート【平成 29 年度版】

参考 1 第 2 期山科区基本計画（冊子）

参考 2 京都市山科区民まちづくり会議要綱

「第2期山科区基本計画」の推進について

1 第2期山科区基本計画【平成23年3月策定】

京都市では、21世紀の京都のまちづくりの指針である「京都市基本構想(21世紀・京都のグランドビジョン)」【平成11年12月】の具体化を図るため、行政区ごとに、区民と行政が目標を共有し、区の個性を生かした魅力あふれる地域づくりを推進するための指針として、地域別計画(区基本計画)を策定している。

山科区では、第1期計画(「山科区フロンティア計画」【13年度～22年度】)を受け継ぎ、平成23年3月に「第2期山科区基本計画」を策定・推進している。

<計画期間>

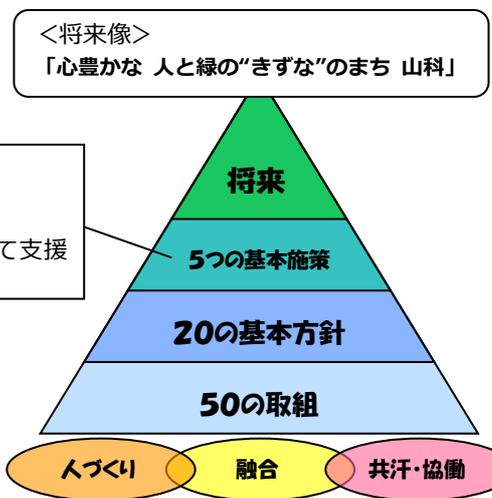
10年間(平成23年4月～平成33年3月)

<計画の構成>

- ・ 5つの基本施策
- ・ 20の基本方針
- ・ 50の取組で構成

- ① 環境
- ② まちの魅力・観光
- ③ 交通・都市基盤
- ④ 保健・福祉・子育て支援
- ⑤ 地域のつながり

※ 全市的観点から取り組む主要な政策を示す「京都市基本計画」と相互に補完し合う地域別計画



2 山科区民まちづくり会議【平成24年4月～】

(1) 設置目的【参考3 京都市山科区民まちづくり会議要綱参照】

「第2期基本計画」を、区民、地域団体、企業、事業者、大学及び行政等の「共汗・協働」により推進するとともに、専門的な見地及び区民の立場から幅広く意見を求めることを目的に設置・開催

(2) 役割

- ・ 同計画の進行管理、進ちょく・達成評価
- ・ 区民提案・共汗型まちづくり支援事業の推進に係る提言 等

(3) 委員構成【別紙参照】

委員数：33名(30年4月時点) ※オブザーバーとして行政機関職員が12名参加

任期：2年間(30年4月1日～32年3月31日)

※ 「山科区基本計画策定委員会」(第2期計画検討メンバー)を母体に、区内各種団体の代表等を加えて委員を構成

<参考> 御意見等を反映した具体的な取組例

アートロードなぎつじ、やましなGOGOカフェ、野菜の直売所のマップ作成 等

山科区民まちづくり会議 委員名簿 <50音順・敬称略>

氏 名	所 属 等
伊藤 幸典	京都市中学校 PTA 連絡協議会山科支部
井上 芳恵	龍谷大学政策学部准教授
岩見 眞成	山科防犯協会
植村 義弘	公益社団法人京都市私立幼稚園協会山科地区
内海 敏	山科区自治連合会連絡協議会会長会
戒井 浩二	山科医師会
大河内 清子	一般社団法人京都手をつなぐ育成会山科支部
岡本 洋	山科の歴史を知る会
北口 昭彦	山科区交通安全対策協議会
木下 文男	山科区身体障害者団体連合会
汲地 玲実	京都薬科大学学生
栗本 帯子	山科区地域女性連合会
小山 好弘	NPO 法人おこしやす“やましな”協議会
◎阪本 崇	京都橘大学現代ビジネス学部教授
嶋本 弘文	山科区保育園協議会
○住友 正歳	山科区自治連合会連絡協議会会長会 山科区健康長寿推進協議会
竹谷 良一	山科区体育振興会連合会
竹中 咲代子	京都橘大学学生
土田 絹枝	山科区老人クラブ連合会
寺田 健三	山科区農業団体連絡協議会
畚野 美輝	京都橘大学学生
藤中 淳史	山科美化推進企業協議会
干場 美代子	山科少年補導委員会
前坂 己美子	山科区民生児童委員会
松井 陽一	山科地域防犯推進委員協議会
三田村 昌人	一般社団法人山科経済同友会
村井 琢哉	NPO 法人山科醍醐こどものひろば
村田 哲子	清水焼団地協同組合
元村 友美	京都薬科大学学生
森田 武士	山科消防団
山本 陽子	京都市児童館学童連盟山科地区
吉川 彰	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会
米岡 那夏子	市民公募委員

◎…座長 ○…副座長

同会議オブザーバー 委員名簿

<50音順・敬称略>

氏名	所属等
朝山 勝人	東部土木事務所
木下 義高	山科図書館
塩見 晃之	京都市立中学校長会山科・醍醐支部
杉本 泰利	上下水道局東部営業所
豊田 寿美夫	京都市小学校長会山科支部
中村 國博	山科警察署
奈須 健一	山科まち美化事務所
松崎 耕三	山科消防署
松宮 知	上下水道局みなみ下水道管路管理センター山科支所
宮尾 広士	東部農業振興センター
宮川 知子	山科青少年活動センター
森脇 俊哉	東部文化会館

事務局名簿

氏名	所属等
大西 利加子	副区長（地域力推進室長・区民部長）
中田 泰司	副区長（保健福祉センター健康福祉部長）
小嶋 明	副区長（保健福祉センター子どもはぐくみ室長）
山下 貴史	地域力推進室 総務・防災課長
人見 早知子	地域力推進室 まちづくり推進課長

平成30年度 第1回山科区民まちづくり会議委員 グループ名簿

グループⅠ [環境]

【五十音順・敬称略】

氏名	所属等	代理
寺田 健三	山科区農業団体連絡協議会	
藤中 淳史	山科美化推進企業協議会	
干場 美代子	山科少年補導委員会	
三田村 昌人	一般社団法人山科経済同友会	
奈須 健一	山科まち美化事務所	関 義樹
山下 貴史	山科区役所地域力推進室 総務・防災課長	
中林 淳	京都市市民協働ファシリテーター	

グループⅡ [魅力・観光]

氏名	所属等	代理
植村 義弘	公益社団法人京都市私立幼稚園協会山科地区	
岡本 洋	山科の歴史を知る会	
小山 好弘	NPO法人おこしやす“やましな”協議会	
畚野 美輝	京都橘大学	
宮尾 広士	東部農業振興センター	
橋間 望	山科区役所地域力推進室企画係長	
伊藤 圭之	京都市市民協働ファシリテーター	

グループⅢ [交通・都市基盤]

氏名	所属等	代理
内海 敏	山科区自治連合会連絡協議会会長会	
北口 昭彦	山科区交通安全対策協議会	
木下 文男	山科区身体障害者団体連合会	
村田 哲子	清水焼団地協同組合	
森田 武士	山科消防団	
朝山 勝人	東部土木事務所	
杉本 泰利	上下水道局東部営業所	竹田 公二
大西 利加子	山科区役所副区長(地域力推進室長・区民部長)	
谷 亮治	まちづくりアドバイザー	

グループⅣ-①[子育て・青少年]

氏名	所属等	代理
大河内 清子	一般社団法人京都手をつなぐ育成会山科支部	
嶋本 弘文	山科区保育園保育所協議会	
前坂 己美子	山科区民生児童委員会	
村井 琢哉	NPO法人山科醍醐こどものひろば	
豊田 寿美夫	京都市小学校長会山科支部	
宮川 知子	山科青少年活動センター	
小嶋 明	山科区役所副区長(保健福祉センター子どもはぐくみ室長)	
田尾 純子	まちづくりアドバイザー	

グループⅣ-②[障害・高齢・健康・人権]

氏名	所属等	代理
栗本 帯子	山科区地域女性連合会	
住友 正歳	山科区自治連合会連絡協議会会長会 山科区健康長寿推進協議会	
竹谷 良一	山科区体育振興会連合会	
吉川 彰	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会	
中田 泰司	山科区役所副区長(保健福祉センター健康福祉部長)	
松井 忠治	京都市市民協働ファシリテーター	

グループⅤ[地域とのつながり]

氏名	所属等	代理
伊藤 幸典	京都市中学校PTA連絡協議会山科支部	
岩見 眞成	山科防犯協会	
土田 絹枝	山科区老人クラブ連合会	
松井 陽一	山科地域防犯推進委員協議会	
塩見 晃之	京都市立中学校長会山科・醍醐支部	
中村 國博	山科警察署	西村 隆之
松崎 耕三	山科消防署	
人見 早知子	地域力推進室 まちづくり推進課長	
佐藤 友一	まちづくりアドバイザー	

◎ファシリテーター名簿(6名)

<まちづくりアドバイザー>

氏名	プロフィール
佐藤 友一	京都大学大学院修了。住民参加型まちづくりの研究と実践を行い、京都市景観・まちづくりセンター勤務等を経て現職。地域コミュニティの再生が専門
田尾 純子	関西学院大学社会学部卒業後、京都市内の青少年活動センターに11年間勤務 ワークショップやグループワーク、カウンセリングを通じた青少年育成が専門
谷 亮治	立命館大学大学院社会学研究科修了、博士(社会学)。住民参加のまちづくりを研究する傍ら、まちづくりNPO法人に勤務。参与観察手法に基づく支援が専門

<京都市市民協働ファシリテーター>

氏名	所属
松井 忠治	北区役所 地域力推進室 企画係長
伊藤 圭之	行財政局 人事部 厚生課 主任
中林 淳	産業観光局 農林振興室 北部農業振興センター

平成 30 年度山科区の重点取組について

※予算については、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」の予算額のみを掲載

基本施策 1 環境を守り継ぐ

環境先進区として、各学区自治連合会を中心とした区民参加を一層推進します。

- 1 山科区 2 万人まち美化作戦の実施【担当：地域力推進室】 【共汗型事業 予算 270 千円】
散乱ごみのない美しいまちづくりを推進するため、区民 2 万人の参加を目標に、学区内の一斉清掃、門掃き、違反広告物の撤去に取り組みます。
- 2 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施【担当：地域力推進室】
区民との協働で、区内の主な幹線道路の歩道上にプランターを設置し、四季折々の花を植え、花と緑あふれる美しいまちを築くことにより、犯罪に強いまちの実現を目指します。
- 3 山科区フラワーロード推進事業の実施【担当：地域力推進室】 【共汗型事業 予算 380 千円】
花と緑にあふれた潤いのある美しいまちづくりを推進するため、「花と緑のまちづくりサポーター（公募の区民ボランティア）」により、区役所玄関前花壇や JR 山科駅前等に四季折々の花を植栽します。
- 4 「エコ学区」ステップアップ事業【担当：地域力推進室，環境政策局】
3 年間の支援終了学区(137 学区)及びモデル学区(26 学区：うち山科区は全 13 学区)を対象に、さらに活発なエコ活動が行えるよう、「京エコライフプログラム(地域性を活かした学区独自のエコ活動を支援する公募型事業)」や省エネナビ(電気消費量計測機器)の貸出し「DO YOU KYOTO? クレジット認証制度」,「地域の担い手セミナー」等、学区の状況に応じた多彩なプログラムにより支援します。

基本施策 2 まちの魅力・観光を磨く

地域の各種団体や経済界，大学等と連携し，山科のまちの魅力資源を磨き高めて，区内外への総合的な発信を図っていきます。

- 1 山科区公式アプリ「やましなプラス+」の運用【担当：地域力推進室】
山科区に在住，在勤・在学の方を対象としたアプリ「やましなプラス+」を用いて，自治連合会をはじめとする地域の各種団体，NPO，サークル等と協働し，魅力的な地域情報を発信します。
- 2 山科検定の実施【担当：地域力推進室】
一般社団法人山科経済同友会との協働により，山科の歴史，文化，産業等への理解を深め，山科への愛着を一層醸成するとともに，山科の魅力を，未来を担う若い世代へ継承するための検定を実施します。
- 3 ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭の開催【担当：地域力推進室】【共汗型事業 予算 2,000 千円】
地域文化の振興を図り，区民相互の交流を深めることを目的に，文化・芸術活動や芸能活動の発表の場として，「区民ギャラリー」及び「芸能フェア」を開催します。
- 4 ファムトリップ（旅行商品企画担当向け視察旅行）の実施【担当：地域力推進室】
NPO 法人おこしやす“やましな”協議会と連携し，区内に存在する魅力的な観光資源を生かした旅行商品が造成されるよう，旅行会社を対象とした視察旅行を実施します。

- 5 **やましな観光振興・賑わい創出** [担当：地域力推進室] **【共汗型事業 予算 425 千円】**
イベントの広報支援等を通して、山科の魅力を発信し、観光客の誘致につなげます。
- 6 **区民史跡の探訪（山科の魅力探訪）への支援** [担当：地域力推進室] **【共汗型事業 予算 150 千円】**
区民等に山科に対する歴史的・文化的な理解や愛着を深めていただくため、区内の史跡めぐり等を実施する団体に対して支援を行います。
- 7 **「大好き！やましな魅力発信プラットフォーム」の運営** [担当：地域力推進室] **【共汗型事業 予算 65 千円】**
山科の魅力に関心のある個人、団体等がお互いにインターネットを通じた情報交換を行うことにより、それぞれの活動の連携を図り、協働で山科の魅力を発信します。
- 8 **笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施** [担当：地域力推進室] **【再掲 基本施策 1】**
区民との協働により、区内の主な幹線道路の歩道上にプランターを設置し、四季折々の花を植え、花と緑あふれる美しいまちを築くことにより、犯罪に強いまちの実現を目指します。

基本施策 3 交通・都市基盤を強化する

道路・交通環境の利便性と快適性を向上させながら、災害に強く、都市環境と住環境の調和したまちをつくっていきます。

- 1 **山科区の交通問題の改善に向けた取組** [担当：地域力推進室，都市計画局，交通局]
「山科区公共交通利用促進協議会」において、交通事業者等と連携しつつ、バス待ち環境の改善を実現するとともに、モビリティ・マネジメントによる公共交通の利用促進と利便性向上に取り組みます。
- 2 **小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進** [担当：地域力推進室，建設局]
関係団体等と連携して早期のバス導入に向けた取組を行うとともに、小金塚自治連合会との協働で、「小金塚地域の安心・安全のまちづくり計画」の推進を図ります。
- 3 **不良な生活環境を解消するための取組** [担当：地域力推進室，健康長寿推進課，障害保健福祉課，生活福祉課，保健福祉局，消防局]
生活衛生上，防災上又は防犯上に支障が生じるような不良な生活環境を解消するため，地域や関係機関等と連携し，要支援者に対して福祉的な支援等を行うとともに，必要に応じて指導等を行います。

基本施策 4 保健・福祉・子育て支援を充実させる

だれもがその人らしく，安心していきいきと暮らせる地域社会を目指します。

- 1 **やましなお誕生おめでとう事業の実施** [担当：子どもはぐくみ室] **【共汗型事業 予算 110 千円】**
子育て家庭を地域ぐるみでサポートするため，地域の民生児童委員及び主任児童委員が乳児家庭を訪問し，地域の子育て情報をお届けします。（平成 27 年度 4 学区で事業開始，平成 29 年度～区内全 13 学区で実施）
- 2 **やましな子育て情報発信事業の実施** [担当：子どもはぐくみ室] **【共汗型事業 予算 400 千円】**
区内の関係機関が実施している子育て支援事業の情報や乳幼児期の子育てのポイントをまとめた情報誌「やましなっこおめでとうガイド」を作成し，未就園児を持つ家庭を中心に地域の子育て

情報を発信します。

3 「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営 [担当：子どもはぐくみ室]

「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」において、関係機関の円滑な連携により児童虐待防止を進めます。

4 やましな子育て支援連絡会の充実 [担当：子どもはぐくみ室]

区内の児童問題の把握、各関係機関・団体との情報交換、研修等を通じて関係機関・団体の円滑な連携を図り、次代を担う子どもたちや子育て家庭への支援を総合的に推進します。

5 子育て支援基幹ステーションの活動の支援 [担当：子どもはぐくみ室]

小学校区域を単位とする身近な地域において、地域の子育て支援ネットワークの中核となる「基幹ステーション」の活動を支援し、地域の育児力の向上を図ります。

6 妊娠期から切れ目のない子育て支援の推進 [担当：子どもはぐくみ室]

乳幼児の健やかな発育・発達と保護者への育児支援のため、母子手帳交付時における妊婦相談事業、こんにちはプレママ事業・こんにちは赤ちゃん事業・育児支援家庭訪問事業等の訪問相談、親子の健康づくり講座等の各種子育て支援事業を実施するとともに、全ての乳幼児を対象に乳幼児健康診査を実施し、妊娠期からの切れ目のない支援を推進します。また、全ての乳幼児の成長の確認のため、乳幼児健康診査の受診率の向上を目指します。

7 子育てに関する総合的な相談支援窓口「子育て支援コンシェルジュ」の推進 [担当：子どもはぐくみ室]

乳幼児健診や子ども医療、児童手当等、多くの子育て家庭が利用する制度の申請時に、個々の家庭の状況やニーズを把握し、その家庭が必要とする他の施策の利用につなげます。

8 乳幼児の教育・保育に関する相談支援窓口と利用者調整の実施 [担当：子どもはぐくみ室]

幼児教育・保育を必要とする方への希望内容の丁寧な聞き取りにより、必要なサービスの提供につながるよう相談支援を行うとともに、適切な利用者調整を行います。

9 「こどもはぐくみ情報コーナー」や山科区公式アプリ「やましなプラス+」を通じた子育て情報の発信・提供 [担当：地域力推進室，子どもはぐくみ室]

子どもはぐくみ室の「子どもはぐくみ情報コーナー」に子ども・子育てに係るチラシやパンフレット等を配架するとともに、山科区公式アプリ「やましなプラス+」等を通じて、子どもや子育てに係る情報をより幅広く提供します。

10 山科区子育て応援フェアの開催 [担当：子どもはぐくみ室]

山科区にお住まいの乳幼児の親子がほっこりと心豊かな時間を過ごし、子育ての楽しさと喜びを深めていただくために、子育て応援フェアを子育て支援団体と連携して開催します。

11 子ども文化・芸術体験事業の実施 [担当：地域力推進室，子どもはぐくみ室]

区内の小学6年生を対象に、学校単位で日本の伝統文化である能・狂言を体験する学習を実施します。また、小・中学生を対象にクラシック音楽を身近に感じることができるワークショップを開催します。

12 山科区健康寿命延伸プロジェクト [担当：健康長寿推進課] 【共汗型事業 予算 626 千円】

○ やましな新聞屋さん見守りネットワーク事業の実施

区内の新聞販売所の協力により、高齢者宅等への新聞配達の際に気付いた異変の情報を関係機関等に通報していただく取組を推進します。

○ “心” の健康寿命延伸体験事業の実施

「清水焼&地産野菜料理」体験教室（じっちゃんとおぼく・わたしの夏休みプラン～清水焼と地産野菜クッキング～）を開催します。

13 山科区フリースペースの設置・運営【担当：健康長寿推進課】 【共汗型事業 予算 883 千円】

社会的に孤立する方をつくらぬよう、区民や地域福祉関係者との共汗・協働により、高齢者、子育て世帯、障害のある方などが気軽に立ち寄れる「フリースペース」を区内に設置・運営（平成 29 年度末現在 13 箇所）し、地域社会の絆づくりの場とします。

14 健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」によるウォーキングの実施【担当：健康長寿推進課】

【共汗型事業 予算 387 千円】

地域の健康増進・生活習慣病対策について考え、活力あるまちづくりを目指すボランティアである健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」によるウォーキングを年 2 回実施します。

15 地域における健康づくり事業の実施【担当：健康長寿推進課】

健康に関する情報の提供等を行い、健康意識の向上及び健（検）診の受診や各事業への参加に結びます。また、地域団体や健康づくりに係るボランティア等と協力して、生活習慣病対策などに取り組みます。

16 介護保険事業の適正かつ円滑な実施【担当：健康長寿推進課】

介護や支援が必要な区民が適切な介護サービス等を利用できるよう、制度や手続きの丁寧な説明に努めます。また、制度の安定的運営に資するため、保険料の適正な賦課・徴収を行うとともに、適正な要介護認定と保険給付を推進します。

17 地域福祉推進委員会活動の充実【担当：健康長寿推進課】

「地域福祉を考える集い」の開催（年 1 回）のほか、「地域支え合い活動創出事業」との緊密な連携など、高齢者福祉・障害者福祉・児童母子福祉の分野別ネットワークとの協働の取組を実施します。

18 地域包括支援センター(高齢サポート)の活動の支援【担当：健康長寿推進課】

地域包括支援センター(高齢サポート)が運営する各学区での地域ケア会議の充実に支援し、地域課題の把握及び解消に努めます。

19 山科区公式アプリ「やましなプラス+」を活用した健康ウォーキングの促進【担当：地域力推進室】

「やましなプラス+」を活用し、利用者の歩数に応じて「やましなポイント」（ポイントは電子マネー等と交換可能）を付与する健康ウォーキング事業を推進します。

20 東部障害者地域自立支援協議会活動の充実【担当：障害保健福祉課】

障害のある方の地域生活を支援する相談体制の強化を図るとともに、支援会議に積極的に参加し、個別具体的な対応を検討します。

21 こころのふれあいネットワーク事業の実施【担当：障害保健福祉課】

関係機関・団体と当事者との協働により行う、ふれあい夏まつりやシンポジウム等の開催を通じて、精神に障害のある方とその家族が生活しやすい地域の環境づくりを目指します。

22 福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施【担当：健康長寿推進課，障害保健福祉課，子どもはぐくみ室】

福祉医療制度についての周知を図るとともに、福祉医療費の支給を適正かつ円滑に実施します。

23 国民健康保険事業等の適正かつ円滑な実施【担当：保険年金課】

区民の健康を守ることを基本とした国民健康保険事業等の適正な賦課と保険給付を実施するとともに、保険料徴収率の向上に努めます。また、制度を分かりやすく説明し、迅速かつ丁寧な信頼される窓口応対を目指します。

基本施策 5 地域のつながりを強める

地域のつながりを強め、まちと暮らしの安心・安全を形成していきます。

1 世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動【担当：地域力推進室，文化市民局】

登下校時の児童の見守り活動等、これまで各学区で行われていた取組を基本としつつ、防犯カメラの大幅な増設や、笑顔と花いっぱいプロジェクト等に取り組みます。京都市と京都府警察が連携して、市民ぐるみで犯罪に強いまちづくりを推進することで“誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまち”を目指します。

2 山科“きずな”支援事業【担当：地域力推進室】 【提案型支援事業 予算 9,545 千円】

区民、地域団体、NPO法人、大学等が自発的、主体的に行うまちづくり活動・事業を公募し、選考・審査を経て、補助金を交付します。また、地域で活動する団体やグループ間の交流・連携の場となる交流会、活動報告会を開催すること等により、まちづくり活動の広がりや活発化を目指します。

3 山科区民まちづくり会議の運営【担当：地域力推進室】 【共汗型事業 予算 332 千円】

区民・地域団体・企業・事業者・大学・行政等の「共汗・協働」により第2期山科区基本計画を推進するとともに、山科ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりを進める山科区民まちづくり会議を開催します。同計画の進捗管理を行うとともに、区民提案・共汗型まちづくり支援事業の推進を図ります。

4 やましな GOGO カフェの運営【担当：地域力推進室】 【共汗型事業 予算 907 千円】

山科に関心を持つ人が出会い、つながる場、活動へのアイデアを育てるための場、行動のきっかけを見つける場としてのカフェを定期的に開催します。

また、区の重要課題について、課題に関わる行政機関、学校、地域団体、市民活動支援団体等が集まり、現状やそれぞれが抱えている課題等を共有し、解決につなげることができる場として、課題別カフェも開催します。

5 「やましな子ども・若者会議」の開催【担当：地域力推進室】

小学生から子育て世代までの幅広い世代が参加し、これからの山科について語るとともに、フィールドワーク等を実施します。

6 区防災訓練の実施【担当：地域力推進室，行財政局】

京都市における地震災害を想定し、地域防災体制の確立を期するため、行政及び防災関係諸機関並びに地域住民が、緊密な連携と協力の下に、区防災訓練を実施し、防災活動に関する責任の自覚と技術の向上を図ります。

7 地域の防災力アッププロジェクト【担当：地域力推進室】 【共汗型事業 予算 390 千円】

地域及び関係機関と連携・協働し、防災・減災対策を引き続き推進するとともに、避難所運営マニュアルや防災行動マニュアル、土砂災害ハザードマップ等を基に、実践的な訓練等を実施し、地域の防災力の更なる向上を図ります。

また、各学区の防災訓練において必要となる物品等について、学区からの希望に応じた物品等

を選定し提供します。

8 IoT を用いた土砂災害に強いまちづくりプロジェクト [担当：地域力推進室]

安朱学区をモデル学区として、土砂災害に強い地域づくりを目指し、京都大学などと連携しながら土砂災害情報の収集を進め、地域防災力の向上を図ります。

9 山科ならではの地域力・知恵を生かした空き家対策の推進 [担当：地域力推進室，都市計画局]

山科区内にある約1万戸の空き家解消を目指し、地域や不動産業界、学識経験者、弁護士等の専門家等との連携により、空き家の市場での流通と空き家を未然に防ぐ啓発を柱とした、総合的な空き家対策を推進します。

10 ふれあい“やましな”区民まつりの実施 [担当：地域力推進室] 【共汗型事業 予算3,645千円】

子どもからお年寄りまで、幅広い年代の区民が参加して相互に交流するとともに、地域の振興と活性化を図るため、ふれあい“やましな”区民まつりを実施します。また、模擬店でリユース食器等を使用するなど、環境にやさしいまつりになるよう努めます。

11 安心安全ネット継続応援事業の実施 [担当：地域力推進室，文化市民局] 【提案型事業 予算325千円】

小学校区を単位として活動する団体に対し、防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策などの分野の活動に要する費用の一部を補助する「学区の安心安全ネット継続応援事業」を実施し、地域の安心・安全活動を支援します。

12 獣害対策チームの運営 [担当：地域力推進室，文化市民局，産業観光局]

野生鳥獣による生活被害を防止するため、型檻などによるサル、イノシシ及びシカ等の捕獲に取り組むとともに、獣害防除物品の貸出しを行っている。また、獣害対策チーム全体会議などによる情報交換、連絡体制の整備により、区民主体の防除組織の活動を支援します。

13 個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供 [担当：市民窓口課]

個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、区民の目線に立った親切で丁寧な対応に努めます。また、マイナンバーカードの取得を促進するための取組を着実に実施します。

14 区民サービスの向上 [担当：全課共通]

“きょうかん”目標の達成に向けて各所属が一丸となって取り組むことで、区民サービスの向上を図ります。

15 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施 [担当：地域力推進室] 【再掲 基本施策1】

区民との協働により、区内の主な幹線道路の歩道上にプランターを設置し、四季折々の花を植え、花と緑あふれる美しいまちを築くことにより、犯罪に強いまちの実現を目指します。

京都市山科区民まちづくり会議要綱

(目 的)

第1条 第2期山科区基本計画（以下「計画」という。）について、区民，地域団体，企業，事業者，大学及び行政等の「共汗・協働」により推進するとともに，山科ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりを推進するため，専門的な見地及び区民の立場から幅広く意見を求めることを目的として，山科区民まちづくり会議（以下「まちづくり会議」という。）を開催する。

(内 容)

第2条 まちづくり会議で意見を求める内容は次のとおりとする。

- (1) 計画全体の進行管理に関すること。
- (2) 計画に掲げる取組の進ちょく評価に関すること。
- (3) 計画に掲げる取組の達成評価に関すること。
- (4) 区民提案・共汗型まちづくり支援事業の推進に関すること。
- (5) その他計画の推進に関すること。

(委 員)

第3条 まちづくり会議に参加する委員は，次に掲げる者のうちから，山科区長（以下「区長」という。）が依頼する。

- (1) 関係行政機関の職員
- (2) 地域団体等から推薦を受けた者
- (3) 学識経験のある者
- (4) 前3号に掲げる者のほか，区長が適当と認める者

2 前項第3号の者のうちから依頼した委員は，学識委員として，専門的見地から意見を述べるものとする。

(任 期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

2 委員は再任されることができる。

(座長の指名等)

第5条 区長は，学識委員のうちから座長を，委員のうちから副座長を指名する。

2 座長は，まちづくり会議の進行をつかさどる。

3 座長に事故があるときは，副座長がその職務を代理する。

(招集等)

第6条 まちづくり会議は，区長が招集する。

2 区長は，必要があると認めるときは，委員以外の者に対して，意見の陳述，説明，その他必要な協力を求めることができる。

(部 会)

第7条 区長は、第2条各号に掲げる内容について、より具体的な意見を求めるため、部会を開催することができる。

2 部会に参加する委員は、区長が依頼する。

3 区長は、部会の部会長及び副部会長を指名する。

4 部会は区長が招集する。

5 部会長は、部会の進行をつかさどる。

6 部会長に事故あるときは、副部会長がその職務を代行する。

7 区長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、部会での意見の陳述、説明、その他必要な協力を求めることができる。

(委 任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、まちづくり会議に関し必要な事項は、区長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

(関係要綱の廃止)

2 山科区民まちづくり会議設置要綱（以下「旧要綱」という。）は、廃止する。

(経過措置)

3 この要綱の施行の際現に旧要綱に基づく山科区民まちづくり会議（以下「旧まちづくり会議」という。）の委員である者は、この要綱の施行の日（以下「施行日」という。）にまちづくり会議の委員として依頼されたものとみなす。この場合において、その依頼されたものとみなされる者の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、施行日における旧まちづくり会議の委員としての任期の残任期間とする。

4 この要綱の施行の際現に旧まちづくり会議の座長及び副座長である者は、施行日に第5条第1項の規定により区長に指名されたものとみなす。

第2期山科区基本計画
施策進ちよく評価 検証シート【平成29年度版】

基本施策 ①	環境を守り継ぐ	自然を守り、地球環境に配慮したライフスタイルを、ともにつくっていきます。
--------	---------	--------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考	
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
1	うるおい・自然を大切に する	①まちの水・緑の充実	花いっぱいプロジェクトでのプランター設置数【個】	—	—	—	—	—	1,800	1,200	対象:市街化区域内の緑(山科区)前回調査(H17)時の緑被率:26%	
			山科区フラワーロード推進事業花苗植数【個】	5,030	5,220	5,140	5,190	5,266	6,133	4,592		
			緑被率【%】	—	—	—	—	25	—	—		
		②公園・緑地等の整備と適切な管理	公園愛護協力会による公園の清掃回数【回】	—	—	2,164	2,243	1,975	2,206	1,651		H23, H24はデータなし 清掃回数については、4月から12月の実績である。 (公園愛護協力会内規にて、毎年4月から12月までの9箇月間の除草・清掃活動を報償金交付の必要条件とし、1月から3月までの活動を、努力規定としているため。)
3	ごみを減らし、まちを きれいにする	③自然環境の保全・回復	山科川におけるBOD(生物化学的酸素要求量)の75%水質値【mg/L】	0.7	0.6	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	BOD(生物化学的酸素要求量):河川の有機汚濁の代表的な指標(数値が小さいほど、汚濁が少ない)、0.5が数値の下限	
			山科川における京都市環境保全基準の達成状況	○	○	○	○	○	○	○	○	市保全基準達成状況は、水域内の全測定地点で75%水質値を満たしているかどうかで判断(満たしていれば○、満たしていなければ×)
2	地球環境問題対策 のため行動する	①低炭素社会づくりによる地球温暖化対策の推進	自動車保有台数(自家用乗用車及び軽自動車のみ)【台】	50,533	50,533	50,767	50,646	50,545	50,493	—	平成29年度分の公表は平成31年4月	
			京都市住宅用太陽光発電システム助成件数【件】	117	179	142	130	85	55	56		
3	ごみを減らし、まちを きれいにする	②廃棄物対策の充実と環境美化	①ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築	ごみの受入量【t】	(488,823)	(481,211)	(472,183)	(461,415)	(439,606)	(417,273)	(413,066)	全市の受入量(山科区のみデータなし)
			②廃棄物対策の充実と環境美化	使用済てんぷら油の回収量【L】	21,353	21,432	22,190	19,435	20,107	21,958	21,596	全市の回収量(山科区のみデータなし)
				使用済乾電池の回収量【t】	(74)	(90)	(85)	(89)	(95)	(99)	(100)	
				2万人まち美化作戦の参加人数【人】	15,856	17,300	16,568	16,554	16,296	15,170	15,247	
山科エコまちステーション及び山科まち美化事務所での清掃用ゴミ袋の配布枚数【枚】	18,810	25,580	18,900	18,981	20,860	29,499	30,304					
4	環境について学ぶ	①環境学習の充実	ごみ減量エコバスツアーの参加者数【人】	102	125	330	315	329	259	242	山科区民の参加者数	
			小学校での環境学習(子どもエコライフチャレンジ)の時間数【時間】	39	39	39	39	39	39	39	エコライフチャレンジ:各家庭で、子ども達がマイバッグの持参などのエコライフにチャレンジしその結果を子ども版環境家計簿「子どもエコライフチャレンジ」に記入する授業	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
1	山科区は、街路樹や公園・緑地、水辺空間など自然環境が豊かである。	21.0%	37.0%	20.4%	12.4%	7.2%	2.1%	100%
2	山科区では、ごみの減量、分別収集など、環境に優しい取組が進んでいる。	20.1%	39.2%	26.2%	7.7%	4.8%	2.0%	100%
3	山科区は、散乱ごみが少なく、美しいまちである。	11.3%	33.6%	30.6%	14.2%	9.4%	0.9%	100%
4	山科区では、学校や地域において、環境について学ぶ機会が充実している。	5.6%	18.3%	44.4%	12.9%	7.9%	10.9%	100%

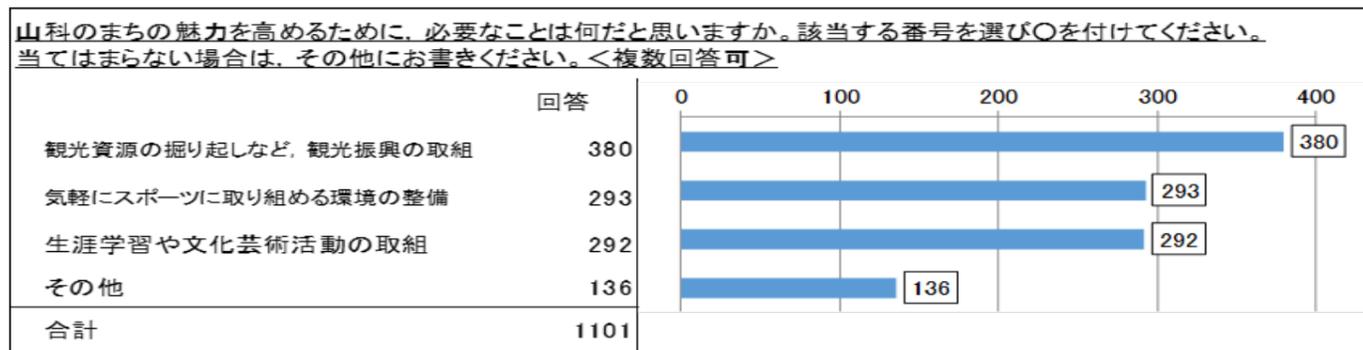
基本施策 ②-1	まちの魅力・観光を磨く (観光・伝統産業)	山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。
----------	--------------------------	---------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移						備考	
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度
1	山科の魅力・観光を育てる	①山科の魅力の発信	おこしやすやまな協議会HPのアクセス数【ページビュー】	—	20,747	25,791	28,240	30,094	29,223	32,087	H23はデータなし 数値は各年1月～12月の数値(H23、H24はデータなし(同調査における訪問地の選択肢にな 平成30年3月から、「地下鉄・バス一日券」に統合 数値は2年ごとに把握(経済センサス) 京都府旅館ホテル衛生同業組合への登録数 京都府旅館ホテル衛生同業組合への登録数 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 データなし
			おこしやすやまなマップ(簡易マップ)の配布枚数【枚】	14,000	18,720	12,090	20,700	5,550	10,300	10,000	
			京都市観光調査で、京都市に訪れた観光客のうち、「山科周辺」を訪問したと回答した観光客の割合【%】	—	—	7.3	3.4	2.7	2.2	—	
		②歴史資源等の保全・活用と新たな魅力づくり	京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】販売枚数【枚】	461	489	785	796	1,256	1,371	1,271	
			歴史・文化資源等を巡るまち歩き事業の開催件数【件】	13	12	26	23	19	26	10	
			市設置の駒札観光案内板の新規設置数【個】	0	0	0	3	5	0	9	
		③観光基盤の整備	飲食店数【事業所】	—	512	—	530	—	—	—	
			旅館・ホテル施設数【施設】	1	1	1	1	1	1	1	
			旅館・ホテル定員数【人】	200	200	200	200	200	200	200	
2	伝統産業・農業を守る	①伝統産業の活性化と観光活用	清水焼の郷まつりの来場者延べ数【人】	55,000	90,000	65,000	92,000	85,000	68,000	30,000	
			②農地の保全と観光農業の展開	野菜の年間収穫量【t】	2,293	2,296	2,296	2,300	2,297	2,303	—
		野菜の年間販売数量【t】		1,620	1,621	1,621	1,624	1,624	1,622	—	
		耕地面積【ha】		166.6	164.5	162.9	160.6	158.4	156.0	—	
		勤修寺観光農園来園者数【人】		15,093	14,075	12,568	14,378	14,725	13,263	—	
		③伝統産業・農業の担い手支援	農家戸数【戸】	471	468	466	464	464	464	—	
			農業従事者の平均年齢【歳】	—	—	—	—	—	—	—	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
5	山科区では、近年、京焼・清水焼等の伝統産業の魅力が増し、後継者や担い手の育成が進んでいる。	2.8%	14.6%	41.4%	14.8%	9.5%	16.9%	100%
6	山科区では、農産物の地産地消や食育の取組が進んでおり、農業や山科産農産物を身近に感じることができる。	9.3%	27.2%	29.1%	18.8%	9.9%	5.7%	100%
7	山科区では、いろいろなひとが、山科のまちに親しみ、まちと暮らしを十分に楽しんでいる。	8.0%	30.1%	37.1%	11.3%	8.2%	5.3%	100%
8	山科区では、歴史や行事、自然、伝統産業などの観光資源が有効に活用されている。	6.4%	27.3%	34.9%	16.8%	7.9%	6.7%	100%
9	山科区では、NPOやボランティア、大学などが連携し、観光客をもてなす体制が整えられている。	2.7%	15.2%	37.3%	19.9%	14.1%	10.8%	100%



基本施策 ②-2	まちの魅力・観光を磨く (文化・スポーツ)	山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。
----------	--------------------------	---------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移						備考		
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度	
1	文化・学びを豊かにする	①わがまち山科を知る機会の充実	【再掲】歴史・文化資源等を巡るまち歩き事業の開催件数【件】	13	12	26	23	19	26	10		
		②生涯学習活動の展開	アスニー山科主催事業延べ受講者数【人】	24,376	23,922	23,975	25,056	25,131	26,102	26,347		
			山科図書館の入館者数【人】	217,464	215,730	210,736	220,591	229,911	228,793	226,290		
		③文化・芸術活動の振興	東部文化会館の利用者数【人】	57,346	68,603	58,999	59,603	53,827	59,917	59,132		
2	遊び・スポーツを楽しむ	①区民スポーツの振興	市営スポーツ施設(東野公園, 山科地域体育館, 勧修寺公園)の利用件数【件】	8,286	8,474	8,683	8,896	8,551	8,775	9,408		
			体育振興会主催のスポーツ大会(区民歩こう会などのイベントを含む)の参加者数【人】	1,442	1,410	1,220	1,238	1,370	1,927	1,334		
		②スポーツ・レクリエーションのリーダー養成	京都市スポーツ推進指導員数【人】	47	49	49	49	48	49	49	49	
			京都市スポーツ推進指導員充足率【%】	100	100	100	100	100	100	100	100	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも いえない	どちらか というと そう思わない	そう思わない	無回答	計
11	山科区では、気軽に文化・芸術活動を行ったり鑑賞したりすることができる。	4.8%	15.2%	33.4%	21.3%	14.0%	11.2%	100%
12	山科区は、スポーツを楽しむ機会が充実している。	2.6%	17.5%	33.1%	21.7%	13.5%	11.6%	100%
13	山科区は、幅広い世代が気軽に学ぶことができる機会や施設が充実している。	2.1%	12.3%	37.5%	21.6%	13.9%	12.7%	100%

基本施策 ③	交通・都市基盤を強化する	道路・交通環境の利便性と快適性を向上させながら、災害に強く、都市的環境と住環境の調和したまちをつくっていきます。
---------------	---------------------	--

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
1	(1)道路を快適にする	①幹線道路網の交通対策	稲荷山トンネルの利用台数(1日平均)【台】	4,600	5,600	6,500	6,700	7,200	7,500	8,100	H28は4月～11月 出典:道路交通センサス調査(5年毎に実施) H27以前はデータなし 区内になし データなし 年ごとの数値
			自動車類の交通量(路線人:一般国道1号, 観測地点:山科区音羽野田町, 24時間(平日))【台】	55,067 <small>(H22の調査結果)</small>	—	—	—	—	51,362 <small>(H27の調査結果)</small>	—	
		②安全で快適な道路空間の整備	カーブミラーの設置個数【個】	—	—	—	—	—	1086	1,105	
			自転車専用道路の整備距離【m】	0	0	0	0	0	0	0	
③山科を楽しめる歩行者ネットワークの整備	歩道のバリアフリー化率【%】	—	—	—	—	—	—	—			
④交通安全対策の強化	交通事故発生件数【件】	911	673	658	576	472	383	378			
2	(2)交通環境を便利にする	①公共交通ネットワークの充実	区内地下鉄駅の乗降客数(1日平均)【人】	79,396	79,995	80,114	82,092	84,232	85,959	87,894	平成29年度分の公表は平成31年4月 平成29年度分の公表は平成31年4月 定期利用を含む。 京阪電車の乗車券等を購入すると駐車料金が割引になるサービスを利用した台数
			地下鉄御陵駅の乗降客数(1日平均)【人】	7,924	7,818	7,782	8,093	8,194	8,146	8,229	
			地下鉄山科駅の乗降客数(1日平均)【人】	40,701	41,028	40,887	41,514	42,737	43,490	43,689	
			地下鉄東野駅の乗降客数(1日平均)【人】	10,360	10,392	10,305	10,680	10,810	11,169	11,869	
			地下鉄柳辻駅の乗降客数(1日平均)【人】	14,117	14,413	14,614	15,066	15,622	16,151	16,821	
			地下鉄小野駅の乗降客数(1日平均)【人】	6,294	6,344	6,526	6,739	6,869	7,003	7,286	
			JR山科駅の乗客数(1日平均)【人】	31,672	32,129	33,227	32,798	33,912	34,219	—	
		京阪山科駅の乗降客数(1日平均)【人】	4,775	3,239	5,611	4,937	4,937	4,827	—		
②パークアンドライド/サイクルライドの促進	市営自転車駐車場(東野駅, 御陵駅南・北, 柳辻駅, 小野駅)の利用台数【台】	297,684	288,550	275,228	294,012	283,088	288,924	277,585			
	放置自転車の撤去台数【台】	1748	1719	1638	1067	642	643	634			
	浜大津駅前(明日都浜大津公共駐車場, 浜大津公共駐車場)での京阪電車と連携したパークアンドライド利用台数【台】	10,951	10,974	10,156	9,997	8,838	7,732	6,983			
3	(3)都市環境を充実させる	①災害に強い都市構造の形成	床下浸水発生件数【件】	0	0	167	1	0	0	0	
			東部土木事務所における町内会等への土のう袋提供件数【件】	470	465	540	1990	353	511	394	
		②魅力ある拠点づくり	【再掲】JR山科駅の乗客数(1日平均)【人】	31,759	32,129	33,227	32,798	33,912	34,219	—	
③良好な景観の保全と創出	未設定	—	—	—	—	—	—	—			

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
14	山科区では、違法駐車や放置自転車が少なく、交通マナーがきちりと守られている。	3.8%	20.3%	20.8%	23.8%	24.4%	6.9%	100%
15	山科区は、歩道や水辺の空間など、まちの魅力を歩いて味わうことができる環境が整っている。	7.6%	27.4%	28.8%	16.4%	11.5%	8.2%	100%
16	山科区は、バス・地下鉄などの公共交通機関が整い、自家用車に頼らない移動が便利である。	19.4%	25.0%	16.5%	17.2%	15.6%	6.4%	100%
17	山科区では、大雨時にも安心できる治水対策が進んでいる。	5.4%	20.6%	35.6%	16.1%	9.4%	13.0%	100%
18	山科区は、個性的なまちなみや景観が守られ、美しいまちである。	3.6%	21.6%	36.3%	18.0%	10.8%	9.7%	100%

基本施策 ④-1	保健・福祉・子育て支援 (子育て・青少年)	だれもがバリアのない気持ちの良いまちで、自ら築くワーク・ライフ・バランスのもとに、いきいきと暮らせる地域社会をつくっていきます。
----------	--------------------------	--

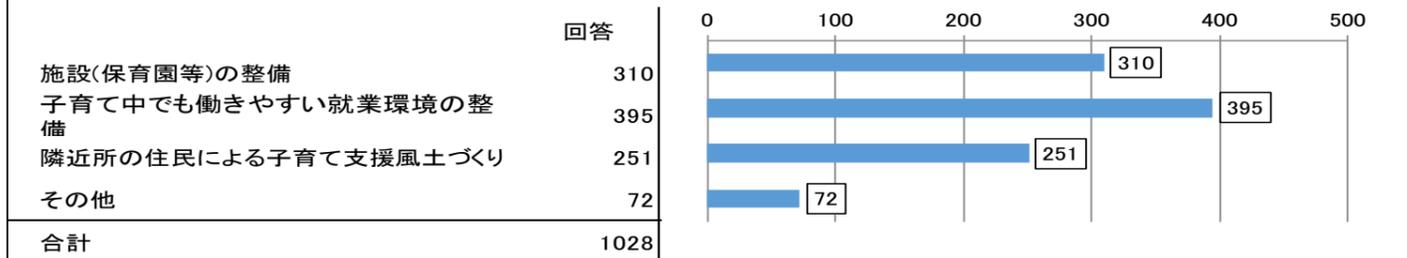
1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移						備考		
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度	
1	子どもと子育てを応援する	①母子保健の充実	1歳6箇月児健康診査受診率【%】	94.3	95.3	95.6	94.7	96.8	97.3	96.4		
		②就学前教育・保育の充実	保育所待機児童数(年度当初)【人】	0	0	0	0	0	0	0	0	
			保育所(園)等施設数【施設】	20	20	20	20	25	29	31		
			保育所(園)等定員数【人】	2,540	2,560	2,580	2,585	2,812	2,853	2,893		
		③放課後児童対策の充実	放課後まなび教室登録児童数【人】	954	958	956	994	1,014	1,071	1,146		H28は11月末時点の数値
		④地域子育て支援の充実	やましなお誕生おめでとう事業訪問件数【件】	—	—	—	—	48	181	277		
			山科子ども支援センター総合相談対応件数【件】	192	213	228	206	262	306	427		
			やましなっこひろば実施回数【回】	—	4	7	8	5	8	15		
			やましなっこひろば参加者数【人】	—	170	222	302	244	455	688		
			子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業利用者数【人】	13,739	16,519	16,239	16,107	16,884	17,583	17,075		
			虐待通報件数【件】	155	170	135	118	138	156			
		⑤学校教育等の充実	小・中学校での土曜学習における学習・体験活動の実施校数(小中学校)【校】	19	19	19	19	19	19	19	19	
			小・中学校での京の子ども「かがやき」創造事業における体験活動の実施校数(小中学校)【校】	11	11	12	13	13	14	14		
		⑥青少年の健全育成	山科青少年活動センターにおける青少年(中学生から31歳未満)の利用者数【人】	52,812	54,917	54,294	53,440	49,681	47,561	48,542		
山科青少年活動センターにおける青少年(中学生から31歳未満)の事業参加者数【人】	14,275		14,707	11,833	9,255	10,319	12,379	10,679				
少年犯罪検挙人員【人】	(1305)		(1021)	(793)	(770)	(478)	(419)	(347)		全市の人数 補導(14歳未満の犯罪)		
少年犯罪補導人員【人】	(282)		(268)	(248)	(222)	(117)	(111)	(132)				

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
19	山科区では、子育て家庭のニーズに対応した保育サービスや相談機能が充実している。	2.3%	15.3%	38.9%	13.2%	5.3%	25.0%	100%
20	山科区では、子育てサロンなど、子育て世帯を支援する活動が活発である。	2.6%	12.9%	39.3%	13.1%	5.5%	26.7%	100%
22	山科区では、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを育てている。	7.1%	33.2%	32.5%	9.0%	4.3%	13.9%	100%
23	山科区では、若者が活動する場や情報が十分に提供されている。	0.8%	9.1%	40.1%	22.0%	12.4%	15.7%	100%
24	山科区では、子どもの非行防止の取組が充実している。	1.9%	10.8%	36.3%	19.1%	16.9%	15.1%	100%

山科区を、子育てしやすいまちにするために必要なことは何だと思えますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞



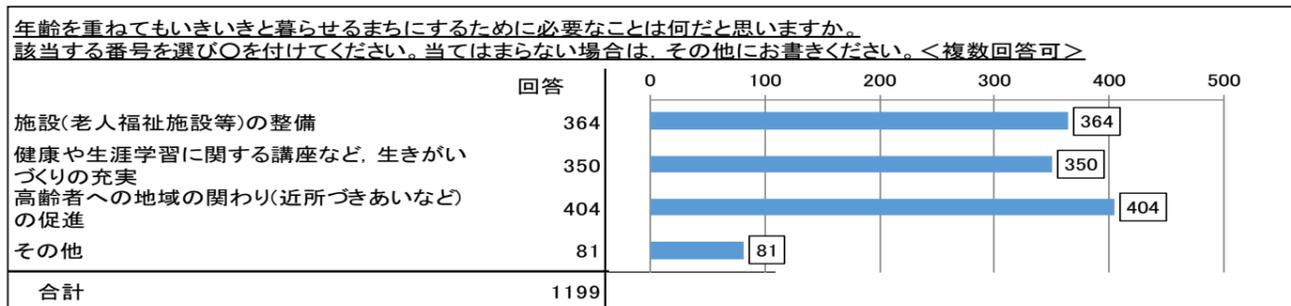
基本施策 ④-2	保健・福祉・子育て支援 (障害・高齢・健康・人権)	だれもがバリアのない気持ちの良いまちで、自ら築くワーク・ライフ・バランスのもとに、いきいきと暮らせる地域社会をつくっていきます。
----------	------------------------------	--

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
1	障害のあるひとの社会生活を応援する	①障害のあるひととその家族への生活支援の充実 ②障害のあるひとの社会参加を守る環境づくりの推進	日中活動系障害福祉サービス利用者数【人】	542	663	695	743	747	751	—	集約中 東部圏域(山科, 醍醐, 東山)での相談件数
			障害者地域生活支援センター(東部圏域)相談件数【人】	14,951	16,152	19,705	25,782	34,497	34,420	40,828	
2	高齢期の暮らしの安心と生きがいをつくる	①高齢期の活動拡大の応援	山科老人福祉センター利用者数【人】	29,099	28,307	28,033	28,808	28,343	28,022	25,222	
			山科中央老人福祉センター利用者数【人】	40,349	42,934	43,450	43,667	43,579	47,509	46,452	
			知恵シルバーセンター紹介者数【人】	—	239	321	366	423	553	526	
		②高齢期の生活と家族支援の充実	要支援認定者数【人】	1,637	1,853	2,057	2,214	2,267	2,294	2,097	
			認知症サポーター養成講座開催回数【回】	14	14	16	30	28	29	21	
			認知症サポーター養成講座参加者数【人】	467	522	476	987	862	1,134	769	
3	区民の健康をつくり、守る	①健(検)診の実施と健康教育・相談の充実	【再掲】1歳6箇月児健康診査受診率【%】	94.3	95.3	95.6	94.7	96.8	97.3	96.4	各年10月1日現在の数値 各年10月1日現在の数値 出典:京都市AEDマップ(H27以前はデータなし) H27のみ座席数が少ない会場で実施 H23はデータなし
			保健センターにおける健康診断診査延人員	4,102	3,959	2,939	3,792	3,745	4,439	2,746	
			キャット・ハンズと歩く健康ウォーキング参加者数【人】	—	—	96	135	140	97	137	
		②地域医療体制の充実	病院数【施設】	7	—	7	7	7	7	7	
			一般診療所数【施設】	115	111	109	108	110	105	109	
			AED設置箇所数【箇所】	—	—	—	—	—	145	150	
4	みんなにやさしいまちにする	①人権文化が息づくまちづくり ②男女共同参画社会づくりの推進 ③ユニバーサルデザインの普及、推進	人権啓発イベント(12月人権月間)参加者数【人】	360	355	280	550	137	315	150	
			ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点(130点)以上の企業の数【企業】	—	81	114	154	181	225	264	
			公共施設における磁気誘導ヒアリングループの設置施設数【施設】	2	2	2	2	2	3	6	
			駅のバリアフリー化状況(段差が解消されている駅数)【駅】	8	8	8	8	8	8	8	
			駅のバリアフリー化状況(車いすトイレ設置駅数)【駅】	7	7	7	7	7	7		

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わな	そう思わない	無回答	計
25	山科区では、障害のある人、また、その家族を支える生活支援が充実している。	4.0%	16.7%	41.7%	13.0%	7.5%	17.1%	100%
26	山科区では、障害のある人の社会参加を守る環境づくりが進んでいる。	2.7%	15.3%	42.8%	11.8%	8.8%	18.5%	100%
27	山科区では、利用しやすく、相談しやすい医療体制が充実している。	6.0%	25.4%	34.8%	15.7%	9.5%	8.7%	100%
28	山科区では、普段の生活の中で人権を大切にし、尊重し合う習慣が根付いている。	2.0%	12.8%	43.5%	15.4%	11.2%	15.1%	100%
29	山科区では、高齢者や、その家族を支えるサービスを行う施設が充実している。	6.1%	26.6%	34.1%	13.1%	8.2%	11.9%	100%
30	山科区では、高齢者の地域活動への参加や、それに対する支援が充実している。	6.4%	24.7%	39.3%	10.6%	6.7%	12.3%	100%



基本施策 ⑤	地域のつながりを強める	さまざまな地域のつながりを強め、自治力・福祉力のある元気な山科区のまちづくりを進めていきます。
--------	-------------	---

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考	
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
1	自治の仕組みを強化する	①地域コミュニティによる自治活動の展開	自治会加入率【%】	-	70	69	68	68	68	68	68	H23はデータなし
2	市民活動を活発にする	①NPO・ボランティア活動等の展開支援	NPO法人数(事務所所在地が区内の法人)【法人】	48	47	45	48	48	51	49		
			区ボランティアセンター相談件数【件】	32	68	31	45	74	115	118		
		②大学・地域・行政の連携強化	区役所が行う区内大学との連携事案件数【件】	-	-	-	6	9	17	27		包括協定締結後、連絡協議会等により、大学と区が確認した事案件数
3	地域ぐるみで暮らしの安心を守る	①地域の福祉力の強化	社会福祉協議会の賛助会費額【円】	14,108,040	14,003,250	14,206,220	13,440,250	13,225,400	13,037,900	12,708,060		
			フリースペースの設置箇所数【箇所】	-	3	3	10	11	13	13		
			フリースペースの利用者数【人】	-	554	2,618	2,946	4,223	4,924	5,026		
		②地域防犯体制の強化と生活安全対策の充実	刑法犯認知件数【件】	2,091	1,691	1,605	1,413	1,234	869	873		年ごとの数値
			火災発生件数【件】	11	22	20	17	11	21	26		年ごとの数値
			③地域防災・危機管理体制の強化	消防団員数【人】	228	234	232	235	243	254	258	
区総合防災訓練参加者数【人】	450	320		450	500	2139	330	550		H27は京都市総合防災訓練として実施		
4	区役所をはじめ、行政機関を生活の身近にする	①協働まちづくり推進の体制強化	山科“きずな”支援事業の申請事業【件】	-	44	46	49	40	41	36		
			やましなGOGOカフェの参加者数【人】	-	-	-	199	242	140	262		
		②行政サービスの利便性向上	区役所ホームページアクセス件数【ページビュー】	179,418	286,909	303,491	294,165	306,867	286,291	304,035		平成28年度は、組織改正により再編された所属を除くアクセス件数

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
32	山科区では、町内会や自治会等の地域活動が活発である。	15.00%	36.60%	27.30%	7.30%	3.30%	10.50%	100%
33	山科区では、町内会や自治会等の地域の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみあっている。	5.50%	23.30%	38.30%	9.90%	5.70%	17.40%	100%
34	山科区では、NPOやボランティア組織など、多様な担い手が活発に活動している。	3.20%	15.10%	38.20%	14.00%	6.50%	23.00%	100%
35	山科区では、大学の市民向けの講座や地域との交流が行われるなど、大学が身近に感じられる。	3.60%	13.30%	27.70%	21.30%	15.80%	18.30%	100%
36	山科区は、犯罪や事故が少なく、安心して暮らせるまちである。	3.40%	16.40%	25.10%	22.30%	24.00%	8.80%	100%
37	山科区では、平常時から、地域ぐるみで暮らしの安心を守る仕組みが充実している。	1.80%	16.20%	37.10%	18.30%	11.90%	14.70%	100%
38	山科区では、防災訓練や連絡網の整備など、災害に備える取組が充実している。	4.30%	25.50%	33.60%	16.80%	7.20%	12.60%	100%
39	山科区では、災害発生時に、地域ぐるみで支えあう仕組みが充実している。	2.40%	19.60%	35.10%	18.20%	9.90%	14.80%	100%
40	山科区では、市や区の施策や事業等について、企画段階から参画する機会が十分にある。	1.50%	7.00%	35.80%	18.00%	13.20%	24.40%	100%
41	山科区役所では、便利で、区民の立場に立った円滑な行政サービスが提供されている。	5.70%	21.10%	32.70%	14.80%	9.60%	16.10%	100%

2 区民の実感(平成28年度区民アンケート)

